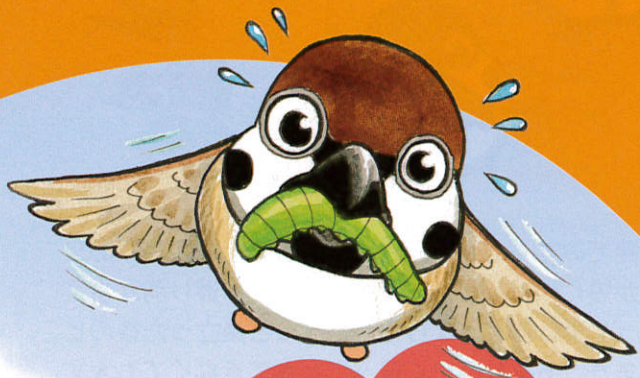


みまもって、野鳥の子そだて



近くには
親鳥がいるから
だいじょうぶ。

見つけても
そのままに!

ヒナを見つけ、
放っておけないと
判断された場合は、
各都道府県の
鳥獣保護担当部署に
ご連絡ください。



ヒナを
拾わないで!!

私たちも応援しています!

(株)アイワ徽章	(株)アシスト わんわん倶楽部	アトム(株)	学研グループ	株木建設(株)
サントリーホールディングス(株)	(宗)真如苑	東亜建設工業(株)	栃木県 (株)ニコンイメージングジャパン	
広島県 丸和油脂(株)	三菱製紙(株)	光村印刷(株)	(株)ユーキャン	(株)ラモードヨシダ
大塚製薬(株)	土浦大師不動産 大聖寺	新潟県	日本印刷(株)	富士石材(株)
(株)フジナガ	ムナテックス(株)	(株)メール	八ヶ岳倶楽部	(株)リビエラリゾート
(公社)愛知県獣医師会	(公社)秋田県獣医師会	アルスコンサルタンツ(株)	(公社)石川県獣医師会	イソップ薬品(株)
永観堂幼稚園	狼森(おいのもり)	おおくぼ動物病院	(公社)大阪市獣医師会	(公社)大阪府獣医師会
カラータ(株)	(公社)北九州市獣医師会	(公社)岐阜県獣医師会	(公社)京都市獣医師会	(公社)京都府獣医師会
(公社)神戸市獣医師会	興和光学(株)	国際動物専門学校	寿精版印刷(株)	(株)サカタのタネ
NPO法人自然環境アカデミー	神宮司庁	高尾霊園犬猫墓地	(公社)千葉県獣医師会	東京環境工科専門学校
(公財)動物臨床医学研究所	(公社)栃木県獣医師会	鳥取県	富山県鳥獣保護センター	中津動物病院
新妻動物病院	(公社)日本獣医師会	(公社)日本動物病院協会	日本野鳥の会茨城県	日本野鳥の会奥多摩支部
文永堂出版(株)	文化堂印刷(株)	ベクター・ジャパン(株)	(株)ベッツイシバシ	(公財)ホシザキグリーン財団
(公社)三重県獣医師会	(公社)宮崎県獣医師会	武蔵村山ペットメモリアルパーク	森久保薬品(株)	(株)モンベル
(公社)山口県獣医師会	(株)ユニバーサルカラー	(公社)横浜市獣医師会	(公財)横浜市緑の協会	(株)吉元
				予防医学教育研究所
				和歌山県 (公社)和歌山県獣医師会

共催：(公財)日本鳥類保護連盟 ☎03-5378-5691

(公財)日本野鳥の会 ☎03-5436-2622

NPO 法人野生動物救護獣医師協会 ☎042-529-1279

後援：環境省



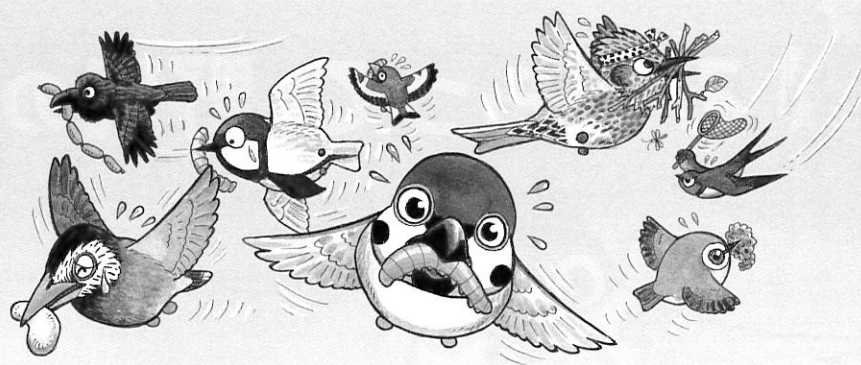
イラスト：富士鷹なすび デザイン：三石芳明

ヒナを拾わないで!!

日頃から私たちは、ごく身近な環境で、あたり前のように野鳥たちの姿を目にすることができます。それは何も野原や森、あるいは山といった自然環境の豊かな場所だけではありません。住宅が軒をそろえる街なかや、ビルが立ち並ぶ都市部であっても、野鳥の姿を見かけるに違いありません。そう、野鳥たちは、私たちが暮らしている環境や空間を共有するかのよう、そこで生活しているのです。まるで、私たちの仲間や友だちのように・・・。

ただ、ここで忘れてはいけないのが、野鳥が「野生動物である」ということです。つまり、私たちが飼っているような犬や猫といったペットとは違い、いつも自分たちの力だけで生きているのです。だから、私たちが勝手に捕まえて飼ってみたり、鳥かごに閉じ込めて餌を与えたりしてはいけません。

多くの野鳥は春先から夏にかけて、草木が伸び昆虫などが数多く姿を見せる、餌が豊富な時期に私たちの身近な場所で子育てをします。そんな時、道ばたや公園、家の庭先などで、まだ幼い感じのする野鳥のヒナを見かける事があるはずです。さて、どうすればいいのでしょうか？



そのヒナの姿をよく見てみてください。親鳥と比べると羽の色があまりはっきりとせず、尾が短く体も少し小さく見えても、一通り羽が生えそろい、しっかりと立って歩けるようならそれはきっと巣立った後のヒナに違いありません。まだ、あまりうまく飛ぶことができなくても大丈夫。その辺りでしばらく過ごす間、親鳥たちがしっかりとヒナに餌を与え続け、十分に育ったところでそのヒナはひとり立ちしていきます。だから、皆さんにはそうした野鳥のヒナを見かけた場合には、そっとしてあげて欲しいのです。もし、そのヒナを拾って持ち帰ったりしてしまったら、親鳥から引き離されてしまうことになり、逆に弱って死んでしまうかもしれません。ヒナを育てるのは、やはり親鳥が一番なのです。かけがえのない親子なのですから・・・。その子育てを邪魔しないようにしてあげることが何より大切なのです。

もしヒナがケガをしていたら？

では、同じように身近な場所でヒナを見かけたものの、ケガをしていたり、うまく立てないなど、明らかにおかしい状態であつたらどうすればいいのでしょうか。今度は先程とは受け止め方が少し違ってきます。ケガや異常の原因は、すぐにはわからないかもしれませんが、周りを建物や人工物で囲まれている身近な場所であつたなら、おそらくそれらが何らかの悪影響を及ぼした可能性が考えられます。ですから、今度はそのままにしておく弱っていくばかりですので、いったん保護した上で、各都道府県の野鳥のことを担当している窓口か、あるいは都道府県の許可を得て野鳥の救護を行っている動物病院などに連絡を入れて、指示を受けるようにしてください。

また、見かけたヒナがまだほとんど羽が生えそろっておらず、立つこともできないような姿だった場合には、近くに巣が見つければそこに戻してあげるといいでしょう。でも、巣が見つからないような場合には、やはり同じように保護した上で、都道府県の窓口や指定された動物病院などに連絡を入れるようにしましょう。

★ 野鳥は法律で保護されています ★

野鳥は、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」(鳥獣保護法)によって、国や都道府県などの許可を得ることなく捕まえてはいけなくなっています。例えば、近くに飛んで来たスズメを網で捕まえて鳥かごに入れて飼ったりしたら、それだけで法律違反となります。だから、ケガをした野鳥を助けるのならともかく、元気な野鳥を勝手に捕まえて飼うのは絶対にいけません。

野鳥はあくまで野生動物なので、いつもすこし距離を置いて彼らの姿を見守ってあげることが大切なのです。野鳥たちにとって、そうしてあげることが最も幸せなのですから・・・。

※本年5月29日より、改正された「鳥獣保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律(鳥獣保護管理法)」が施行されることとなっています。

スズメの「巣立ち前のヒナ」と「巣立ち直後のヒナ」

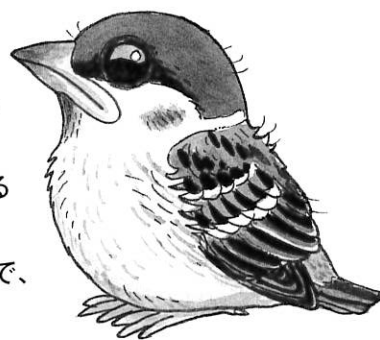
巣立ち前のヒナ

- 目がきちんと開いていないこともある
- 羽毛が生えそろっておらず、親鳥より小さく、赤裸や地肌が見える状態のものもある



巣立ち直後のヒナ

- 羽毛は一通り生えそろっているが、上手く飛べないこともある
- 羽ばたいたり、親鳥を追ったりするうちに次第に飛べるようになる
- 親鳥より尾羽が短いことも多いので、体の大きさは親鳥に近くなるが、少し小さく感じることも多い



「ヒナを拾わないで!!」キャンペーン

公益財団法人日本鳥類保護連盟、公益財団法人日本野鳥の会、NPO法人野生動物救護獣医師協会が、巣立った直後の野鳥のヒナに出会った時の正しい接し方を伝えることを目的として行っています。

プレゼント

お申込方法

1. 氏名(フリガナ) 2. 性別 3. 郵便番号 4. ご住所 5. 電話番号
6. メールアドレスをご記入のうえ、メール(nature@wbsj.org)か、FAX(03-5436-2635)か、郵便(〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル 日本野鳥の会ゆるゆるバードシール2W 係)でお申込みください。

当キャンペーンオリジナル (イラスト: 野鳥まんが家 富士鷹なすびさん)

「ゆるゆるバードシール 第2弾」
先着500名様にプレゼント!

カラー

